

博士からは逃げ
られない

シバ・ティレアス

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ただネタとして書いた。

博士から逃げる？ 逃げられるわけないじゃん（白目）

目次

ない	博士
い	からは逃げられ
1	

博士からは逃げられない

拝啓、お父様、お母様、そして友達みんな。僕は、この世界で殺される可能性が高すぎてヤバイです。

「どうしたのですか？ お腹でも空きましたか？」

目の前にいる彼女。ラケル・クラディウスさ「さん付けしなくても大丈夫ですよ？」・・・ラケル博士「遠慮しなくてもよろしいのですよ？ 別に、貴方が私のことを呼び捨てにしたからって、怒ることなんてありませんからね」・・・ラケルさん「まあ、それで今は妥協しておきましょう」が俺に猛アタックしてくる、というのが殺されそうでヤバイ、という理由に繋がってくる。

「貴方が殺される事はありませんよ？ その前に私が・・・フッフッフッフ」

・・・もう、ね？ ラケルさんが好いてくるといふことは、博士の内一人が敵視してくるのは確実だし、レア博士から良くないモノとして見られるだろうし。

いつ殺されるかドキドキしながら生きてます「あら、私にドキドキしてくれているのですか？ フフツ、とても嬉しいです」もうやめて俺のライフがゼロになるから。

「それに、そんな心配は無用ですよ？」

クジヨウ博士とお姉様
心配の種は無くなりましたので」

そう言つて差し出された携帯端末を見せてもらうと、ベッドの中で、作中では見ることがなかった穏やかな笑みのまま動かないクジヨウ博士と、俺の写真を見て「新しい家族・・・フツ」と微笑んでいるレア博士。

え、ええー・・・うっそだろ？ 根回し終わつてる？ しかもクジヨウ博士がオワタ

？ R A G E B U R S Tはやったことないけど、友達から聞いた話では、クジヨウ博士が螺旋の樹にナニカしてその結果ナニカが起こつたとしか知らない。けど、それだけでもクジヨウ博士が重要な役割をしていると分かる。

・・・クジヨウ博士が死んじゃつたら、原作どうなるの？

登場人物以外

「ふふふ、面白い事を言いますね。原作と呼ばれる世界は、貴方登場人物以外が入った時点で離れていくのですよ？ この程度、小さな変化でしかありません。それに、フツ♪ ここからはやつぱり内緒です」

え、ナニソレコワイ。というか内緒にしないでくださいとても怖いんですが。つてか勝手に心を読むな！

「この場合、読まれる方が悪いのですよ、とでも言えばいいのでしょうか？」

あーはいソウデシタネ。

それよりさ、どうすんのこれ？ 確かに、俺は原作の事とかほぼほぼ全部言つたよ？

覚えてること全部。貴女ラケルさんが最後までどうなるのかも。けどさ、ここまでする必要あつた？

クジヨウ博士の事、絶対怪しまれるよね？ 捜査の手が伸びてくるよね？

「それに関してもご安心を。貴方の知る私が、尻尾であろうと影であろうと、掴ませるとでも？」

デスヨネーシツテタ。

で、なんで俺掴まれてんの？

「いえ、すこしベッドでお話をしようと思ひまして。付き合つてくださいますよね？」

え、なんか変な言葉になつてたような気がするんだけど！ ちよ、ア”ア”ア”ア”ア”ア”

”ア”ア”ア”ア”ア”ア”ア”ア”ア”ア”

こんな物語（白目）